

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (26) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 6 月 28 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 22 礼拝を通してすべてのことを(使 2:42)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 22 レムナントの庭(使 17:1, 18:4, 19:8)	△核心/RT-DAY 7 月学院福音化
「礼拝-すべてのこと」(使 2:42)産業人と重職者は礼拝を通して、すべてのことを得なければならない。 □序論 1. どこにいるかを確認しなさい。 1) 7・7・7 キリストがくださったことの中にいなければならない。 2) サタンのやぐらが入ってきているので、うまくいかず、霊的な病気がくる。 3) 神様のやぐらに変えなさい。この中にいなければならない。 2. 出会い だれと会うのがとても重要だ。本当に伝道する人が私たちのそばにいなければならない。 1) 24、25、永遠 時刻表の出会い 2) 5 流れの中で出会い 3) 伝道者と RT の出会いが成り立つことが祝福だ。 3. 未来 1) 300%準備 2) 再創造の祝福を味わって、 3) 記念碑的な祝福を残さなければならない。 □本論 礼拝が最も大きな祝福。すべての問題が解決して、未来が見える。 1. 使 1:1-8 1) 礼拝時間は時空超越する時間 2) 237-5000 の祝福がすでに来ていて、来る。 3) 空前絶後 なぜ私がここにいなければならないのかが出てくる。私たちはどこでも参加して熱心にすべきだが、それは基準ではない。空前絶後。 2. 使 1:11-14 この契約を握って降りてきた。 1) 環境 2) 迫害 3) 私の限界を超越する。これが祈りで、礼拝だ。「心を一つにして祈っていた」 3. 使 2:42 礼拝のときに出た四つ 1) 5 流れ「使徒の教えを守り」 2) 出会いの祝福。「交わりをし」 3) 救いの感激「パンを裂き」 4) 祈りの力「(熱心に) 祈りをしていた」 4. 使 2:17-18 礼拝を通して未来が出てきた。 1) 預言し。みことばをあらかじめ見たこと 2) 幻を見て 3) 夢を見る。 5. 使 2:46-47 毎日家で、家々で 1) 家-子ども「家で」みことばが家で成り立ったところ、家で成り立ったのだ。家で子どもたちがみことばを聞くことができることが重要だ。 2) 現場に成就した。 3) 証拠-証人 それゆえ私たちは証人になるのだ。 □結論 <u>確認</u> しなければならないこと 1. 答え 私たちが座った席、私が礼拝できるということ。 2. 今日が未来 今受けるみことばが成就する。 3. 永遠-今日 さらに重要なのは神様が約束された永遠なことが今日ある。礼拝するときに、永遠の前に約束したキリストの約束、とこしえまでである神様のみことばが今日、今、私たちに来ている。	□序論 根源回復 1. 私のサミット タイム、私の現住所 (7・7・7)-主のやぐら、旅程、道しるべの中にいること 2. 私の出会い 1) 使 17:1 キリスト 2) 使 18:4 礼拝と祈り、 3) 使 19:8 答えと未来に(神の国) 答えを出すことだ。 3. 私の作品(300%) 1) 編集を絶えずすべき 2) 設計、 3) デザインする。これを 24・25・永遠だとも言う。 □本論 このようにしなければならない理由 1. RT 7 人が行ったところ 1) 237 2) 5000 種族の現場 3) 王の前に立った 2. わざわいを止めなければならないので 1) サタン-だます者-人をだまして、自分自身をだます。それゆえ、私たちが自分でだまされる(占い、法事、輪廻説)。わざわざいが来るしかない。 △散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 22 三つの弟子(使 1:1-8) 三つの弟子をどこで探すのか 1. 教会弟子 教会の中のすべての人と良く過ごさなければならないのは正しい。神様の計画があるから。しかし、私の生活の中で重要につながるのは弟子だ。 2. 現場弟子-一つの地域 現場の中に、一つの地域に弟子 1 人ずつだけ見つければ、世界福音化が起こる。 2) これが文化になり、企業になる。ここにしがたって政治をする。 3) RT だけが道なので TCK、CCK、NCK を生かさなければならない。300%を作れば良い。 3. 使 17:1-9-5 キリスト(永遠の前、受肉、復活、再臨主、さばき主)を分かなければキリストをよく分らないこと 4. 使 18:1-4 安息日ごとに 3 つの庭、金土日時代、黙想時代をした 5. 使 19:8-21 1) 会堂から始まったが、「講堂」で特別に弟子を別に立てた。 2) 神の国-神様のことを続けるので、癒やしが起こるしかない。 3) 「ローマも見なければならない」 □結論 今、どんな答えか 1. 御座の働き(すでに準備された)が臨む。 2. 今、神の国が成し遂げられ、暗闇が砕かれている。 3. 神の国のことは、その後起こる。	□序論 生活(福音=祈り) 実際の祈りで私の生活にリズムが出て来るのだ。24 できる。祈りが私に最も平安で幸せになる。実際に力を得る。すると、続けて答えが出てくる。祈りの中に私の生活があって、神様が働かれるそのリズムの中に私がいるのだ。ここまで行くように 3 時代の訓練を受けなさい。祈りは福音を味わうことだ。神様がともにおられることを味わって、実際に感じることだ。そこまでなれば、レムナントは外に出て行ってもかまわない。 <u>ただ、唯一性、再創造</u> が見える。 <u>やぐら、旅程、道しるべ</u> が作られる。 <u>WIOS</u> 神様が私とともにおられるウィズ、インマヌエル、ワンネスのシステムの中に私が入っているようになる。祈りが成り立つ。 <u>OURS</u> 祈りの中でただ、唯一性、再創造のシステムの中に私がいるようになる。 <u>300%</u> 私が行く道に 100%、私に 100%、未来 100%が出て来る。 1. 既成世代 2. 教会を生かした。 3. 世界-王たちの前に立って世界を生かした。 □本論 <u>1</u> なぜ奴隷に行ったのか 1. 福音の価値を分らない。福音という答えが出て来なかったため 2. わざわいが何か分らない。 3. エジプトから出たのが解放なのか。そうではない。 <u>霊的伝染病</u> -福音と伝道、宣教の価値が分らない理由 <u>2</u> 14 代-ペリシテの苦難 1. 士 21:25 自分の見た目に良いと思うことをするしかない。この(序論)の中にいないため 2. I サム 7:1-15 やぐらを変えるミツバ運動-血のいけにえをささげるとき、ペリシテが砕かれた。 3. I サム 17:1-47 レムナント ダビデが出てきてペリシテに勝つ。実際の神様の <u>力</u> を知らないということだ。 <u>3</u> アッシリア-アラム <u>霊的無知</u> 1. ソロモンの失敗-偶像国家に変わったイスラエル 2. II 列 19:1-35 アッシリアに勝ったヒゼキヤ-いのちをかけて神様に祈ったその夜に、主の御使いを派遣 3. II 列 6:8-23 ドタンの町運動-力があれば戦わずに勝つ。 <u>4</u> バビロン-捕虜 1. イザ 6:1- <u>13</u> レムナントはなくならないというメッセージを握って勝利した人々 2. イザ 7:14 逃したこと-インマヌエルの福音 3. ダニ 1:8-9 この契約を握ったダニエル <u>祈り 24</u> - 3 集中 目を開けば 5 分以上集中、屋には確認、夜には 300%準備 <u>祈り 25</u> - 3 セッティング 主のやぐらができて旅程、道しるべを行けばプラットフォーム、見張り台、アンテナが出て来る。 <u>祈り永遠</u> - 3 答えをあらかじめ持っているのだ。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (26) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 6 月 29 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 26 週/2 部：私とレムナントに刻印させること ローマ 24:25・永遠(マコ 16:15-20)	△聖日 1 部 その日以来 (I サム 16:1-13)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 荒野に勝つ神殿(出 14:1-13)
日曜に礼拝をささげるとき、終日健康を完全に回復して、御座のやぐらが建てられると確信しなさい。すると、私たちが行ってもない所に、私たちと関係している所に神の国が臨む。答えは神の国のことで成し遂げられる。私たちはどこでも祈ることができるべきだ。ローマまで行かなければならないので、ローマ 24、25、永遠だ。すると、必ず 300%が出る。 □序論_24、25、永遠を何によってすべきなのか <u>始まり</u>- 300%の絶対やぐらの始まりであるためだ。 1. カルバリの丘-私たちは絶対不可能なので、カルバリの丘の契約をやぐらとして作るのだ。それゆえ、これは 24 祝福、25 力、永遠の作品だ。 2. オリーブ山-絶対弟子を作るオリーブ山のやぐらだ。復活して「あらゆる国の人々に行って弟子としなさい。万民に行きなさい。あなたとともにいる」それを味わうのだ。 3. マルコの屋上の部屋-力を受けることができる絶対やぐらだ。 4. アンティオキア教会-伝道の絶対やぐらが開かれる。 5. アジア-宣教の門が開かれる。 6. マケドニア- 237 王国で絶対やぐらを見るようになる。 7. ローマ- 237、(5000)種族がいる所だ。 □本論_なぜこれをすべきなのか 1. 職業-300% -ほかのことではできないので、祈りの奥義によって私たちの職業、学業、産業が 300%にならなければならない。100%では世界福音化できない。24、25、永遠を味わうので「御座」の力で可能だ。 2. 伝道やぐら 300%ですべきだ。 3. 宣教やぐら 300% -私たちの力ではできないが、神様が与えられる祝福で 300%可能だ。今ここに海外から来ている方々は、韓国で 100%、自国を生かすこと 100%、次世代、未来のために世界を生かすこと 100%を見つけなさい。24、25、永遠で可能だ。 □結論_24、25、永遠をどのようにすれば良いのか 1. 24、3 集中すれば良い。朝に目を開けば 5 分以上祈り、寝る前に神様が与えられる答えを受けて、昼には答えが確認できる。その人は問題で答えが見えて、危機がものすごい神様の祝福、機会に見える。 2. 25、神様の働きが 3 セットアップ。人が行くしかないプラットフォーム、他の人が生かされる見張り台、神様と通じるアンテナの祝福を味わうようになる。 3. 永遠の作品が 3 答え。すべての問題は答え、すべての困難は更新の祝福、すべての危機は機会だ。	※神様の絶対計画を質問しなさい。重要な答えが始まって見ることが変わる。 1) 皆さんに神様は絶対計画を持っておられる。 2) 神様の絶対計画と反対になる道を行ったサウル王-一生苦勞 3) 神様の絶対計画を握ったその日以来、困難が答えに変わる。 □序論_この日以前のこと 1. 絶対契約と絶対計画を逃した者の状況を分かった。 1) エジプト 400 年奴隷生活 2) 荒野 40 年苦しみ 3) 14 士師時代の間、受けていたペリシテの攻撃 2. そのときごとに、神様の絶対計画を持った者を用いられた。-ダビデに重要な契約を伝えて油が注がれる 3. 私が立っているところが宣教地だ。そこで神様の絶対計画を見つけるのだ。 1) ダビデの羊飼いの時期(詩 78:70-72) (1)そこで神様の奥義を味わった-多くの詩を作って、神様に祈り、賛美、礼拝 (2)羊一匹なくさなかった。 (3)王になるほどの器の準備ができていた。 2)だまされずに今いる場と今いることを 300%にしなさい。 3)ある日、皆さんに神様の絶対計画が伝えられる時刻表が来る。 □本論_この日以来 1. サタンのやぐらを倒すべき理由を悟った、その日以来 1)サタンの 17 やぐら-強大国、弱小国、イスラエルにあった病気 2)ペリシテが攻め込む理由、イスラエルがこのようになった理由 3)契約の箱 2. 油を注がれた日以来-絶対契約を握ったその日以来、神様のやぐらが建ったその日以来 1)ダビデに伝えられた貴重な契約-御座のやぐら、旅程、道しるべ 2)このやぐらが臨んで力ができ始め 3)ペリシテを征服し始め △根源癒やし-主のやぐらが建てられればなくなる。絶対契約を握るその日から、主の霊が激しく下った。 3. 未来の使命を悟ったその日以来 1) 300%準備 2)イスラエルを生かす祈る 1 千のやぐら 3)世界を生かす三つの庭がある神殿準備 □結論_一生契約、正確な契約、創造の契約を握りなさい。 1. 一生の契約を握りなさい。 2. 絶対計画を見たが、私ができないとき、答えを探して正確な契約を握りなさい。 3. 神様の契約のみことばが臨めば、創造の働きが起こる。創造契約が伝えられなければならない。 1)ダビデに伝えられた創造契約-三つの庭がある神殿建築 2)干からびた骨-主がなさることが出来ます。みことばを預言しなさい。いのちの息に預言しなさい。	今でも続いているサタンの方法 エデン事件(神様を信じるな。あなたが神のようになる) ネフィリム事件(悪霊に捕えられたこと-滅亡の原因) バベルの塔事件(完全に崩れる) 過越祭(血を塗る日-解放) 五旬節(聖霊の力でともにおられる) 仮庵祭(御座の力) →これを示せる幕屋、神殿、教会を作りなさい。 □序論_世界福音化の体験(生活自体が神殿になるべき) 1. 創 37:1-11 世界福音化の夢を見たヨセフ 出 3:1-20 神様がモーセに契約を与えて体験するようにされた。 <u>私の中に神殿</u>-私の中に神様の神殿が臨むこと 2. 出 5:1-12:46 <u>人-神殿</u> 出会い、人の前に現れる神様の神殿が臨む 3. 出 14:1-13 <u>現場</u>に神様の神殿が臨んだ △皆さんが神殿で、皆さんがいる所が神殿だ。外の世界に神殿を作るのだ。祈りがすべてを引っ張って行けば良いのだ。 □本論_三つのことが起こる 1. 幕屋-幕屋運動からしなさい。これが荒野を通り過ぎる方法だった。 1)幕屋中心に生活しなさい。 2)会見の天幕中心に信仰生活をしなさい。 3)天幕中心-天幕の入り口をすべてみな幕屋側に置いた。 2. 神殿-来るようにさせること 1)三つの庭準備 2)金土日時代を開きなさい。 3)隠されたことを見つける黙想時代 3. 教会-世界を生かすこと(世界化されること) 1)御座のやぐらを建てなさい。 2)旅程を進むようにさせるのだ。 3)道しるべを建てるのだ。 □結論_うまくいかなくなっている三つの解決をしなければならない。 1. 貧しさ-献金を一番たくさんしたイスラエルが経済祝福を一番たくさん受け、一番礼拝をたくさんさげたイスラエルが世界の知性を掌握した。祈って献金を回復しなさい。 2. 病気-「紅海を渡りなさい」「幕屋中心、契約の箱中心にヨルダンを渡りなさい」「エリコを崩しなさい」連合軍が攻め込んだとき、空前絶後の答えが与えられた。だれも行くことはできないと言ったアナク山地をカレブ一人で倒した。 3. 無能-伝道できなくて教会が生かされずにいる。レムナントが力がなくて世の中のしもべなら、生かすことはできない。答えを受けなければならない。 △いのちをかけて、私の一生のことを残しなさい。次世代に貧しさ、病氣、無能を譲ってはならない。